

ごあいさつ

市民の皆様、後援会の皆様には、日頃から中島りゅうじの活動に対しまして、ご理解、ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

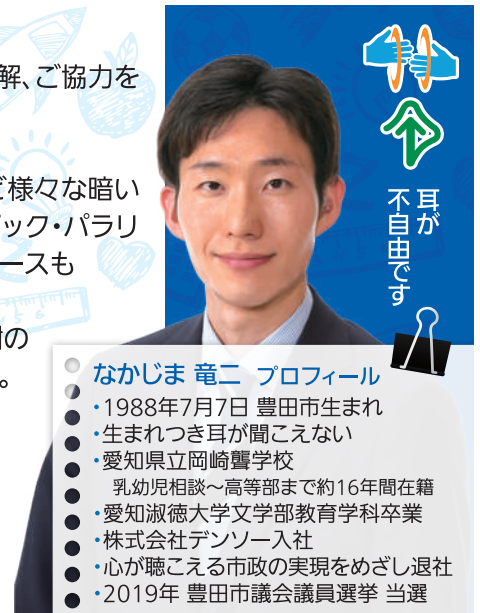
豊田市議会議員に就任してから、3年経ちました。

この1年間は、新型コロナウイルス感染症拡大、ロシアによるウクライナ侵略など様々な暗いニュースがたくさんありましたが、東京オリンピック・パラリンピック、北京オリンピック・パラリンピックでは両方とも我が国が過去最多となるメダルを獲得したという明るいニュースもありました。

目まぐるしく動く世の中ではありますが、今後も1日1日を大事にしながら、常に感謝の気持ちを忘れずに、市民の皆様のために、市政改革・議会改革に取り組んでまいります。

また、豊田市議会における会派につきましては「心が聴こえる市政の会」という、政党や自治区の推薦・支援を一切受けずに当選した無所属1人会派として、障がいの有無にかかわらずすべての市民の心の声を聴き、「市民第一」として市政に取り組み、日本一バリアフリーなまちづくり・豊田市を目指して活動してまいります。

今後ともご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願い致します。



なかじま 竜二 プロフィール

- 1988年7月7日 豊田市生まれ
- 生まれつき耳が聞こえない
- 愛知県立岡崎聾学校
- 乳幼児相談～高等部まで約16年間在籍
- 愛知淑徳大学文学部教育学科卒業
- 株式会社デンソー入社
- 心が聴こえる市政の実現をめざし退社
- 2019年 豊田市議会議員選挙 当選

3月定例会 報告

2月18日(金)～3月17日(木)の28日間

慎重に審査した結果、
上程された予算案や議案等については
全て賛成といたしました。



中島りゅうじ 一般質問

障がい児への早期支援に向けた取組

Q.質問 豊田市子ども発達センターにおける
保護者への支援取組は？

A.答弁 ▶ 保護者に対しては、センター内の療育現場で直接助言したり、他の保護者の取組を参考にしてもらったりすることで、子どもの特性に合わせた関わり方を学んでもらっている。
▶ 相談室では、子どもの発達の心配や、集団生活での不安、保護者自身の育児ストレスなど、悩みを抱える保護者に寄り添って相談に応じている。
▶ こども園や学校等が関わる相談については、当該の園や学校とも連絡調整し、安心して子育てができるように支援している。

これまでに出会った障がい児を持つ親御さんたちの声で共通するのは、育児面で悩みや不安、ストレスを持っているということです。少しでも取り除けるような支援取組が大変重要だと考え、さらなる保護者への支援や様々な支援取組を適切に行うよう強く要望しました。



中島りゅうじの要望・意見

Q.質問 豊田市子ども発達センターの今後の方向性は？

A.答弁 ▶ 豊田市子ども発達センターは、発達支援の必要な子どもを受け入れて、療育・支援を担ってきた。

▶ 豊田市においても、民間の児童発達支援事業や放課後等デイサービスなど、障がい児を対象とした福祉サービスが充実しつつあり、また、地域共生の意識が高まる中、こども園や学校においても、保護者の意向を尊重し、障がい児の受け入れを進めているところ。

▶ 引き続き、早期療育に取り組みつつ、積み上げてきた専門的な知見や関係機関とのつながりを生かし、地域の民間事業所やこども園、学校等のバック

アップや、子どもの発達を支援する人材の育成など、豊田市における療育の中核的な機能を果たしてまいります。

中島りゅうじの要望・意見

豊田市子ども発達センターは豊田市にとって中核的な機能を持つ拠点として、各こども園や民間の児童発達支援事業所等との連携をしっかりと行い、今後もさらなる発達ニーズに応じた発達支援の取組を期待します。